

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.186)

1. 地域協議会の開催

9月10日(火)に、豊田PCB処理事業所周辺自治区の区長の皆様や、豊田市環境部廃棄物対策課の副課長にご出席いただき、令和元年度JESCO豊田地域協議会を開催しました。

この地域協議会は、周辺自治区の皆様への情報提供と意見交換の推進を目的に、平成25年度から開催し、今年が7回目となります。対象とさせていただいているのは、三軒屋、樹木、本地新田、深田山、広久手、広久手町、土橋の7自治区です。



JESCOからPCB廃棄物適正処理推進に向けた環境省の取り組み、当施設でのPCB廃棄物処理の進捗状況を報告させていただきました。

その後、PCB処理施設をご見学いただき、PCB廃棄物を安全確実に無害化処理する工程などをご案内させていただきました。

当日は新幹線で使われた車載型トランスの搬入があり、運搬車両から受入保管設備に受入れる様子もご覧いただきました。

最後に、自治区長の皆様方との意見交換を行いました。

自治区長の方々からは、停電が起きた時の対応についてご質問をいただき、非常用発電装置により設備を安全に停止していくことや設備の安全設計等についてご説明しました。

また、PCB廃棄物をグローブボックスを用いて処理する作業員の安全管理についてご質問をいただき、グローブボックス内を負圧に管理していること等を説明しました。

また、PCB廃棄物の計画的処理完了期限内での処理完了を見込んでいることなどを説明し、ご理解をいただきました。



2. 交通安全街頭活動を行いました



9月24日(火)に豊田市の「秋の交通安全市民運動」の一環として行われた「全市一斉交通安全街頭活動」に参加しました。

豊田PCB処理事業所からはJESCO、運転会社の社員約30名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを掲げ、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。

3. 夜間想定総合防災訓練を実施しました

豊田PCB処理事業所では、24時間4班3交代の勤務体制をとっているため、防災訓練を各班が一回ずつ訓練ができるよう、8月中に4回実施しました。この訓練では、深夜の火災発生を想定し、少人数の夜勤者による初期消火活動の役割を確認しました。併せて、夜間の事故発生時における消防本部や豊田市への緊急通報の手順を確認しました。

また、8月28日(水)には、上記の防災訓練に加え、JESCOと運転会社の合同による避難訓練と、消火器と消火栓による消火訓練を実施しました。終了後には、立会をいただいた豊田市消防本部予防課の方から、「訓練は大変良かった。さらなる向上のために自分の役割だけでなく、周りの方の役割も理解しておくこと」との講評をいただきました。今後も訓練を続けるとともに防災意識を持って火災等を起こさないよう心掛けていきます。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

